

環境報告書2013

札幌大同印刷株式会社



経営理念

私たちは 表現・言論・出版の自由を守り 印刷文化を通して 健全な社会の発展に貢献する

私たちは お客様の志向を十分に認識し喜ばれ
信頼される企業を創造する

私たちは 職業人としての誇りと自覚をもって
自己の能力を研鑽し発揮するよう努力する

私たちは 互いの人間性を尊重し
幸福の実現を目指す

トップメッセージ

この度は、札幌大同印刷の環境報告書2013をお手に取っていただき、誠にありがとうございました。

札幌大同印刷が毎年発行する環境報告書は、私たちの環境への取り組みをただ記録として残すためだけでなく、さまざまな視点から見直し、考えて行動に結びつけ、従業員はもちろん多くのステークホルダーの皆さまと、次なる一歩を生みだすきっかけづくりをしたいと考え、これからも継続して発行したいと考えております。

また、今年は札幌大同印刷が昭和29年に現在の営業所がある豊平の地に、創業の呱呱の声をあげてから60年という節目の年にあたり、益々、本業である「印刷（ものづくり）へのこだわり」と「新しい価値を創造し提供する」という想いを大切にするとともに、経営理念にもありますように、印刷文化を通して健全な社会の発展に貢献できるよう取り組み、今後70年、80年、100年と、将来世代へ胸を張って持続可能な社会を引き継いでいける企業、社会に求められる企業を目指して、

更なる努力を継続して参ります。

今後とも、札幌大同印刷への皆さまからのご理解、ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



札幌大同印刷株式会社
代表取締役社長

本間 翼

環境方針

■ 理念

私たちは、健全で美しい地球環境の保全を最重要課題のひとつととらえ、印刷及び印刷関連事業、マルチメディア事業の推進と、地球環境保全との調和に努め、地球に優しい事業活動を継続して実践し、豊かな自然環境を将来世代へ引き継ぎ、北海道の企業として快適な地域社会の実現に貢献します。

■ 基本方針

1. 事業活動全般によって生じる環境への影響を認識し、環境目的・目標を定め、環境汚染の予防を含め、環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
2. 事業活動全般にかかわる環境関連の法律、規制、協定等を順守するとともに、自主基準を定めて管理し、環境リスクを回避します。
3. 環境保全のため、次の項目を環境管理における重点テーマとして取り組みます。
 - 1) 省資源・省エネルギーの推進
 - 2) 車両による排出ガスの管理と削減
 - 3) 製造過程で使用する有機溶剤などの管理と削減
 - 4) 廃棄物の管理と削減、リサイクル化
 - 5) 製品事故の削減
 - 6) 環境に配慮した資材、企画の提案とお客様サポート
 - 7) 環境情報の公開
 - 8) 地域社会への貢献
4. 環境方針を達成するため環境目的・目標を設定し、全事業所・全従業員をあげて環境管理を推進します。
5. 環境方針は札幌大同印刷で働く、または組織のために働くすべての人に周知し、環境保全の意識向上に努めます。また、利害関係者への周知により環境マネジメントシステムの理解と協力を要請すると共に一般の人にも開示し、入手可能とします。

制定 2003年 3月 1日

改訂 2009年 3月 1日

■ 会社概要

- 商号 札幌大同印刷株式会社
- 創業 1954年8月10日（昭和29年）
- 代表取締役社長 本間 翼（ほんまたすく）
- 所在地
[厚別本社 / 制作室・製造部]
〒004-0003
札幌市厚別区厚別東3条2丁目1番1号
電話 011-897-9711（代表）
[豊平営業所 / 営業本部・企画室]
〒062-0905
札幌市豊平区豊平5条5丁目2番25号
電話 011-823-6115（代表）
- 資本金 56,950,000円
- 従業員数 89名（2014年5月現在）
- 事業概要
[商業印刷]
パンフレット／リーフレット／カタログ／チラシ／ポスター／メニュー／会社案内／社内報／報告書／雑誌／カレンダー 等
[デジタル関連]
Webデザイン／システム開発／データベース構築／プログラミング 等
[その他]
PR企画立案／マーケティング／ノベルティ／グッズ／DVD制作／屋内外広告看板／イベント事業の企画運営 等

■ 報告書概要

■ 環境報告書発行の目的

「環境報告書2013」は、札幌大同印刷の環境保全活動の情報開示を図るツールだけではなく、札幌大同印刷を支えて頂く多くのステークホルダーとの対話を行うための重要なツールと考えています。尚、限られた誌面の中で、活動のすべてを掲載することは出来ませんが、札幌大同印刷が取り組む等身大の活動報告としてご理解をいただければ幸いです。

■ 対象期間

2013年1月1日～12月31日
2013年度の活動を中心としましたが、一部の項目については過去及び現在継続中の物も含まれております。

■ 対象組織

札幌大同印刷株式会社
厚別本社・豊平営業所

■ 対象範囲

札幌大同印刷株式会社における環境保全活動や実績を中心に掲載しています。

環境方針重点テーマと目標と実績

環境保全活動を推進するために、札幌大同印刷の環境方針に基づき、重点テーマを5つに項目分けし、日々の活動の中で意識した行動に努めています。

2013年度 環境目的・目標の達成状況

札幌大同印刷の事業活動、製品やサービスに関わる環境に影響を与えられるあらゆる環境側面から、原材料の調達や製品の製造段階での環境負荷低減だけに取り組むのではなく、お客さまや地域住民とのコミュニケーションを大切に、企業市民として社会全体の環境負荷低減を目指して、独自の目標を立てて環境保全活動を推進しています。

※自己評価 ● 目標に対し実績達成 ▲ 目標に対し実績未達成

環境方針重点テーマ	環境保全活動目標	2013年度実績	評価
省資源・省エネルギーの推進 環境方針-3(1・2)	電力使用量の削減	クールビズ等を実施 使用量 前年度比101.9% 1.9%増加	▲
	コピー用紙使用量の削減	校正の電子化・在庫管理の徹底を実施 使用量 前年度比97.2% 2.8%削減	●
	印刷予備紙の削減	損紙等の再利用を実施	●
	エコドライブの推進	エコドライブの実施 低公害車の導入を実施	●
化学物質の管理 環境方針-3(3)	揮発性有機化合物(VOC)の削減	環境対応品調査検証を実施したが代替品の該当はありませんでした	▲
循環型社会形成の推進 環境方針-3(4・5)	廃棄物の管理・削減	リサイクル化の推進を継続 排出量 前年度比101.6% 1.6%増加	▲
	製品事故の削減	工程毎チェックリストの添付・掲示 発生件数 前年度比14件減少	●
環境パートナーシップの推進 環境方針-3(6)	大同特色インキの提案	提案受注率66.7% 前年度比1.4%増加	●
	環境にやさしい紙の提案	提案受注率4.2% 前年度比1.1%増加	●
	環境配慮型製品の提案・サポート	提案・サポートの継続	●
環境コミュニケーションの推進 環境方針-3(7・8)	環境情報の公開	環境報告書の発行 ホームページでの情報公開	●
	地域社会貢献活動	環境報告書展・キャンドルナイト ごみ拾いなどに参加協力	●

2013年度 環境活動データ

事業活動から生み出される、さまざまな環境負荷のデータを集計・把握し、多岐に渡る環境影響を評価し、環境目的・目標に反映しています。

INPUT (投入) と OUTPUT (排出)

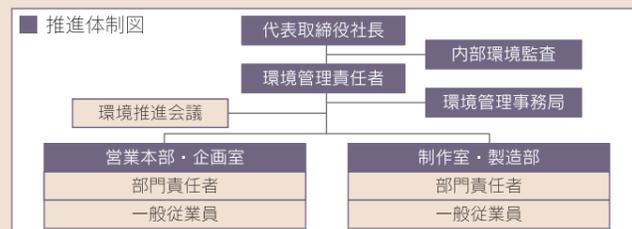
環境負荷の低減を図るためには、事業活動から生み出されるさまざまな環境影響を把握する必要があります。札幌大同印刷では、環境に与える影響が多岐に渡ることから、有害・有益を問わず工程毎に物質のINPUT(投入)とOUTPUT(排出)による環境データを収集し、環境に影響しうる要素の評価を行い、次年度の環境目的・目標に反映しています。

INPUT (投入)	SAPPORO DAIDO (事業内容)	OUTPUT (排出)
エネルギー 電気 350,563 kw ガス 181.0 m ³ 灯油 7,001 L ガソリン 17,086 L	営業本部 物品やサービス、情報、人などを結びつけます。 企画室・制作室 企画 お客様に合わせたコンセプトをまとめ、企画立案します。 制作・編集 コンセプトに沿ったビジュアルや文章などを駆使し、表現します。 製版(出力) テキストや画像データなどを適切な印刷用のデータに変換します。 刷版 校了となった印刷用に変換されたデータを、印刷用の原版にします。 Web ホームページやプログラムの企画制作をします。 製造部 印刷 印刷原版を印刷機に設置し、お客さまの要求を印刷で再現します。 製本・加工 刷り上がった印刷物を、断裁、折り、製本など、最終的な製品に仕上げます。 梱包・納品 完成した製品を、お客さまの指定する形に梱包し、期日までに指定の場所にお届けします。	二酸化炭素 (CO₂換算) 電気 121,581 kg ガス 398.2 kg 灯油 17,572 kg ガソリン 39,468 kg 合計 179,019 kg 廃棄物 再生資源 (有価物) 古紙 185,080 kg アルミ版 9,540 kg 合計 194,620 kg 再生資源 (産業廃棄物) 金属くず 79 kg 廃アルカリ 5,368 kg 焼却・埋立 (産業廃棄物) 紙くず (再生不可) 10,275 kg 廃油 (インキ類) 3,217 kg 廃油 (洗浄油) 1,709 kg 合計 20,648 kg 一般廃棄物 35.65 m ³

環境マネジメント概要

環境保全推進体制

環境マネジメントの運営を推進するためにPDCAサイクルを継続的に実行し、役割と権限を明確にし、環境管理事務局・各事業所の環境保全担当者と連携を図っています。



法令等の順守

札幌大同印刷の事業活動、製品及びサービスにおいて、環境関連法規制や地域の条例・協定などを順守することはもとより、自主基準を設けて環境汚染の未然防止に努めています。2013年度において、環境関連法規制等に関する違反や指摘、指導などはありませんでした。

■ 関連する主な環境法規制

水質汚濁防止法/下水道法/労働安全衛生法/PRTR法/グリーン購入法/大気汚染防止法/消防法/札幌市火災条例/廃棄物の処理及び清掃に関する法律/札幌市生活環境に関する条例/北海道公害防止条例/札幌市廃棄物の減量及び処理に関する条例 など

環境教育

環境問題の基礎知識や自覚の向上を図るため、全従業員を対象に教育を実施しています。また、省エネルギーへの取り組み方などをパネルやポスターで掲示したり、環境保全に関する冊子を配布するなど、継続的に啓発を行っています。



事故・災害などの緊急事態対応

薬品などの流失や火災など事業活動において起こりうる事故や地震などの自然災害を想定し、手順書を作成。手順とともに避難経路の再確認など事故・緊急時に備えた教育訓練を実施しています。



環境保全活動の概要

環境目的・目標を達成するために、地球温暖化の防止や循環型社会形成の推進、環境汚染の予防など、事業活動においてさまざまな場面で、継続的な環境保全対策に取り組んでいます。

省資源・省エネルギーの推進

電力使用量の削減

パソコンで作成したデータを、従来の中間工程である版下や製版フィルムを撤廃し、製版工程にて印刷機で使用するPS版にデータを直接焼き付けるCTPを導入。制作・出力・刷版まで作業工程時間を短縮し、製版用のカメラ、スキャナー、フィルム焼き付けプリンター、フィルム自動現像機などの機材設備が不要となり、資材及び電力の削減とともに品質の安定にもつなっています。

また、日常の取り組みとして、クールビズの実施や蛍光灯の間引き、残業時や休憩時には不要な照明の消灯、業務終了時の電源オフチェックなどに取り組みましたが、製造部による休日出勤の増加などにより、2013年度は前年比から1.9%増加で目標を達成できませんでした。



エコドライブの推進

営業活動やメッセンジャー便で使用する自動車の燃費向上と無駄のない燃料の消費、二酸化炭素排出を抑制するため、待ち合わせや荷物の積み下ろしなどの駐停車時のアイドリングストップや冬場の暖機運転の時間短縮、不要な荷物を降ろして自動車を軽量化にするなどのエコドライブに努めています。

また、自動車の導入時には低排出ガス基準レベル認定自動車を選択するなどに取り組んでいます。



コピー用紙使用量の削減

コピー用紙は校正時に多く使われていることから、お客さまとの校正が文字だけなど簡単な確認の場合には出来るだけPDFデータにして、メールでのやり取りを推奨しています。

また、コピー用紙の発注ラインを決めて表示し、在庫管理の見える化や製本工程時に発生する印刷用紙の断裁紙片を有効的に活用するなど日常の取り組みを継続的に行った結果、2013年度は前年比から2.8%削減することができました。



印刷予備紙の削減

印刷時には、見当合わせをしたり、インキの濃度を合わせるなど、準備段階で大量な印刷予備紙の投入が必要となりますが、電力同様、CTP導入により印刷時のさまざまな要素が大幅に改善され、導入前より印刷予備紙を抑制することが出来ました。

また、損紙の再利用など可能な取り組みを継続し、過去のデータから算出した予備紙率13.0%を印刷予備紙購入基準とし、更なる印刷予備紙の削減に努めています。



[用語解説]

■ CTP (Computer To Plateの略語)

パソコンで作成したデータを、中間工程である従来の製版フィルムに出力せず、コンピュータから直接印刷機で使用するPS版にレーザーで焼き付ける方法。

■ 低排出ガス基準レベル認定自動車

NOx(窒素酸化物)やPM(粒子状物質)など排出ガス低減に向け、国が定めた自動車の排出ガス基準に対応した低排出ガス車制度の認定を受けた自動車。

■ 製版

版下を専用のカメラでフィルムに撮影し、プリンターで反転しながら色毎に分版するなどして、印刷用の版を作る従来の方法。

■ 見当合わせ

表裏の位置や同一印刷面の各色がずれないように位置を合わせること。

■ PS版 (Prensized Plateの略語)

紫外線により感光する感光層をアルミ板に塗布したもので、オフセット印刷の感材として使用される。

■ 損紙

印刷や製本作業中のさまざまな要因から、製品として使用できなくなった用紙のことで、別名ヤレともいう。

循環型社会形成の推進

廃棄物の管理・削減

日常生活において排出される一般廃棄物を削減するために、エコバックやマイ箸などを推奨。また、購入時から廃棄物削減を考慮するために、グリーン購入などの研修を行っています。

また、事業活動で排出される産業廃棄物は、前年比から1.6%増加しましたが、適正に処分するために排出から処分まで自主的に期日を設定し、処分終了までの監視をマニフェスト管理票にて管理するとともに、継続して削減に努めています。



■ 産業廃棄物排出量 (kg)



製品事故の削減

製品事故により資源の再投入と廃棄物の増加を招くことから、印刷の代表的な誤字・脱字・汚れ・色ムラなどの製品事故発生を未然に防ぐため、作業チェックリストを作成して製品事故予防対策を継続的に行っています。また、製造部では在庫の紛失などといった事故原因をなくすために5S活動の推進を図っています。

製品事故が発生した場合には速やかに原因の追及と対策を講じて全従業員に情報と改善策を共有し、製品事故防止に努めた結果、前年比14件減少しました。

■ マニフェスト管理票

産業廃棄物の収集・運搬、中間処理、最終処分などを委託する場合、排出者が委託者に対して適正な処理が行われたことを確認する管理票のこと。

■ ブランケット胴

オフセット印刷機の胴のうち、印刷圧を生むゴムブランケットを巻いた中間胴の事。版胴上の画像は一度このブランケット胴に転移され、さらに紙に再転移されます。

■ 5S活動 (整理・整頓・清掃・清潔・躰)

整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字Sを取ったもの。徹底することで無駄な作業や過剰在庫などがなくなり、安全で効率的な職場環境となる。

■ 揮発性有機化合物 (VOC=Volatile Organic Compoundsの略語)

印刷機械の洗浄剤に含まれるトルエンなどの物質で、大気中の光化学反応により光化学スモッグを引き起こす原因物質の一つとされています。

■ オフセット印刷

版からインキを直接ではなく、一度転写してからインキが移される印刷方式。特殊な物を除いて、現在の平板印刷はこのオフセット形式が主流である。

■ ライフサイクルアセスメント (LCA=Life Cycle Assessment)

その製品に関する資源の採取から製造、輸送、使用、廃棄などすべての段階を通して環境影響を定量的、客観的に評価する手法。

化学物質の管理

揮発性有機化合物(VOC)の削減

オフセット印刷機に付属するブランケット胴の洗浄用溶剤に含まれるトルエンは、揮発性有機化合物(VOC)として札幌市条例の規制対象となることから、使用量の把握など手順に基づいた日常管理の徹底に努めるとともに、環境対応品への転換を図るため、代替品の検証に取り組みましたが、2013年度も代替品はなく、今後も調査・検証の継続するとともに、適正管理と排出量の削減に努めていきます。

また、有機溶剤を扱う従業員の安全と健康を守るため、労働安全衛生法に則り、有機溶剤等の健康診断及び作業環境測定を実施し、健康障害の防止に努めています。

環境パートナーシップの推進

環境に配慮した印刷物などの提案・サポート

札幌大同印刷では、無駄になるインキを極力減らすために使用頻度の高い特色インキを選定した見本帳を用意し、お客さまが特色をご希望する場合、出来るだけ見本帳の中からお選びいただく大同特色インキの提案を行い、受注提案率66.7%で前年比1.4%増加しました。

また、印刷用紙がライフサイクルアセスメント(LCA)の観点から、二酸化炭素の削減や廃棄物の増加などを抑制する「再生紙」や森林の生態系を守るために管理された森林から産出され、「森林認証」を受けた紙。また、森林の健全な生育を促すために木の一部を伐採した木材を配合した「間伐材紙」や「震災復興支援型カーボンオフセット用紙」など、環境に配慮した紙の提案を行い、提案受注率4.2%で前年比1.1%増加しました。

電力に関しては、印刷時に風力や太陽などで発電された電力を購入して印刷する「グリーン電力証書」や木質バイオマス燃料を使用することによって削減された二酸化炭素を、印刷時に排出される二酸化炭素とオフセットする「みんなでカーボンオフセット」制度など、環境に配慮した提案及びサポートをお客さまに行っています。



環境コミュニケーション

社会の一市民として、地域社会に根ざした活動を応援するとともに、地域社会とのコミュニケーションを大切に、経営理念にも掲げる「印刷文化を通して 健全な社会の発展に貢献」してまいります。



ラブアース・クリーンアップ in 北海道

私たちの北海道を私たちの手で、世界一きれいな場所にする、全道一斉ごみ拾いのムーブメント。地球の環境を大切にすることを「ごみ拾い」という、誰でも参加できる身近な行動で表現し、より良い北海道の環境を未来につなげて行こうという呼びかけに賛同し、6月の環境月間に合わせて6日厚別本社と7日豊平営業所の周辺のごみ拾いを、総勢50名が参加し実施しました。初めて参加した社員は予想以上のごみの量に驚き、「より身の回りのことから取り組んでいこうと思った」などの感想もあり、ただきれいになっただけではなく、身近な環境問題意識の啓発にもつながりました。

主催：NPO法人北海道市民環境ネットワーク A-1~5

ESD学び合いフォーラム

2013年2月17日、北海道大学学術交流会館にて「ESD学び合いフォーラム」と「高校生環境学習ポスターセッション」が合同で開催され、北海道内から集まった学校や団体などの環境学習、ESDの事例ポスターの展示とともに、北海道の企業の地域社会貢献活動事例として、札幌大同印刷の活動をまとめたポスターを作成し、展示協力しました。イベントは学生や教師、市民や行政など教育に携わっている人たちが多く参加し盛況となりました。

主催：環境省北海道環境パートナーシップオフィス B-1~2

さっぽろキャンドルナイト

2013年6月21日夏至の日。1年中で一番昼が長い夏至の日の夜8時から10時までの2時間、「電気を消してスロウな夜を過ごそう」と、札幌市内で行われるさまざまな取り組みを広く市民に知らせることで、「世界に誇れる環境文化都市さっぽろの実現を目指そう」という呼びかけに賛同し、社内で残業の抑制を呼びかけ、お客さまや取引先、従業員の家族にキャンドルやパンフレットを配布し、参加を呼びかけました。

キャンドルナイトから省エネはもちろんのこと、さまざまな環境問題を考え、楽しく行動する機会となりました。

主催：さっぽろキャンドルナイト実行委員会 E

地域の足～エコ通勤から始めよう～

公共交通による「地域の足」確保の重要性が高まる中、各地域の利用者数減少から、サービス低下や路線廃止などの障害によって、マイカー通勤の依存度が上がり、マイカー通勤が進むと公共交通の利便性が低くなるという悪循環を引き起こします。また、マイカー通勤を減らすことで、通勤時に排出される二酸化炭素の抑制にもつながるとことから、「地域の足」確保キャンペーンの呼びかけに賛同し、エコ通勤を促すアンケートやパンフレットの配布などの啓発を行いました。

主催：北海道運輸局

環境報告書展

事業者と社会を結ぶ環境コミュニケーションの重要なツールである環境報告書などを収集し、市民などに広く公開して取り組みを知ってもらおうと、1月24日～28日の間、札幌市地下歩行空間「憩いの広場」で環境報告書展が開催され、札幌大同印刷の環境報告書を展示・配布しました。また、札幌エルプラザに移動し、1月29日～2月3日の間、「コミュニケーションが進める環境保全」の企画の一つとして、生物多様性に関するパネルなどととも展示・配布しました。

主催：札幌市環境局 札幌市エルプラザ C-1・2

チャリティえほんいち

札幌大同印刷創業60周年事業の一つで、紙を扱う企業として現代の子どもたちにデジタル化した書籍では味わうことの出来ない、私たちが小さいころに触れた絵本の質感や香りなどの紙が持つ魅力、絵本の魅力を再発見してもらおうと、チャリティイベントを開催しました。

えほんいち、家庭に眠っている絵本をゆずっていただき、必要とされている方に安価で販売し、その売り上げを「札幌市さぼーとほっと基金」を通し、子どもたちの健全育成を図る活動に寄付いたしました。

ご賛同して絵本をゆずっていただいた皆さま、イベントに参加していただいた皆さま、ご協賛・ご協力していただいた皆さまにこの場をお借りしてお礼申し上げます。

主催：札幌大同印刷株式会社 F-1~6

札幌市円山動物園応援グッズ

未来を担う子どもたちが、地球のことや動物たちの未来のことを楽しく考えるきっかけづくりとして、ライオンやレッサーパンダ・シロクマなど、円山動物園内にいる動物たちをモデルにした「どうぶつめりえ」[ZOONOTE]を、札幌市円山動物園公認グッズとして制作販売しています。札幌大同印刷は、販売した収益金の一部を動物たちの食べ物代として札幌市円山動物園に寄付しています。

主催：札幌大同印刷株式会社 D

その他の活動

割り箸リサイクル活動

使い終わった割り箸が紙の原料に生まれ変わることから、社内で使用済みの割り箸を回収しています。この活動により少しでも社内のごみが減り、資源を大切にする意識付けにもつながり、リサイクル活動にも役立てられています。

回収先：王子エフテックス株式会社江別工場

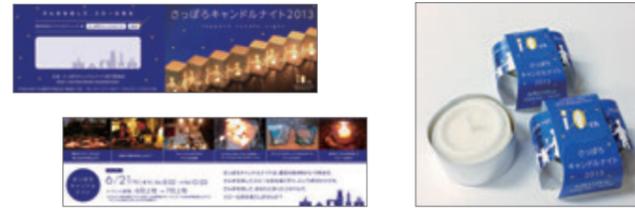
リングブル回収活動

リングブルを換金して、車椅子を購入し、福祉団体などに寄贈しようとリングブルを回収しています。回収したリングブルは、地域の子どもの活動を応援しようと、毎年厚別本社近くの小野幌小学校に寄贈しています。

回収先：リングブル再生ネットワーク事務局

環境配慮型印刷物の実績（一例）

環境にやさしい紙や植物油インキ、印刷時の電力を二酸化炭素を排出しないグリーン電力で行うなど、環境に配慮して出来た印刷物の一例をご紹介します。



3



4



5



6



7



8

1. さっぽろキャンドルナイト 2013 / さっぽろキャンドルナイト実行委員会 様
2. なまら便利なバスマップ / NPO法人 ゆうらん 様
3. 地球温暖化ふせぎ隊 隊員募集 / 公益財団法人 北海道環境財団 様
4. 地球温暖化ふせぎ隊 出前環境教室のご案内 / 公益財団法人 北海道環境財団 様
5. ESDをやってみよう。 / NPO法人 ezorock 様
6. 星空ナイト 2013 / 公益財団法人 さっぽろ青少年女性活動協会 様
(札幌市アカシア若者活動センター)
7. CSRレポート 2013 / 株式会社札幌ドーム 様
8. おうちでできるエコ探検 / NPO法人 北海道グリーンファンド 様

安全で安心な社会と職場を目指して

情報管理の徹底を図り、付加価値の高い製品・サービスの提供に努め、従業員の能力が発揮できる職場環境づくり、人が輝ける会社づくりを目指していきます。

個人情報保護の取り組み

札幌大同印刷は、お客さまの安心の提供及び社会の信頼に応えることが企業の社会的使命と考え、「個人情報保護方針」を定め、2006年よりプライバシーマークを認証取得しています。お客さまからお預かりする個人情報を適切に扱うために、事業所毎で管理体制を整え、個人情報を台帳で管理し、情報の内容や形態に応じた対策を図り、リスクに応じた適切な管理を行っています。

また、内部監査を実施し、個人情報の取り扱い状況の確認と改善を行うとともに、継続的な取り組みを行うために、全従業員への教育を実施しています。2013年度において、個人情報の漏洩事故はありませんでした。



札幌大同印刷「個人情報保護方針」については、下記ホームページにてご覧いただけます。

- 札幌大同印刷プライバシーポリシー
www.diocd.co.jp/daido/privacy.html

セクシュアルハラスメント防止

職場におけるセクシュアルハラスメントは、労働者個人の尊厳を不当に傷つけ、能力の有効な発揮を妨げ、会社にとっても職場の秩序や仕事の遂行を阻害し、社会的評価に大きく影響を与える問題です。

札幌大同印刷は、職場でのセクシュアルハラスメントを「起こさない、起こさせない」ためにも、男女雇用機会均等法および札幌市男女共同参画推進条例に基づき、「職場のセクシュアルハラスメントの防止」を制定しています。

社員一人ひとりが正しい知識と理解で快適な職場環境をつくるために、全従業員を対象にセクシュアルハラスメントの教育を行うとともに、一人で問題を抱えることのないよう従業員のプライバシーを守り、微妙な場合も含め広く相談に対応するために事業所毎に相談窓口を設けて対応しています。

札幌大同印刷は、職場でのセクシュアルハラスメントをなくして、従業員が働きやすい職場環境づくりを目指しています。

災害等及び事故緊急時対応

地震などの自然災害や火災、薬品・灯油の流出など、各事業所で起こりうる事故緊急事態を想定して対応手順を定め、教育や訓練を実施しています。

万一発生した場合には、手順に沿った行動に移すとともに、原因の究明や予防対策を見直し、事故の再発防止に努めます。

札幌大同印刷株式会社 「環境報告書2013」

■ 本報告書の仕様

本報告書は、環境への負荷軽減を図るため、小ロット印刷に適したオンデマンド印刷を採用することで、印刷時の電力使用と印刷時の予備紙を抑制しました。

印刷用紙は、事業活動にて余ってしまった用紙を使用。報告書用にあらかじめ用紙を発注するのではなく、社内にある資材で出来るだけ作成しようと心掛け、リデュース=廃棄物の発生抑制に努めました。

また、より多くの人が見やすいように、色づかいに配慮したデザインを心掛けて作成しました。

■ 本報告書に関するお問い合わせ

札幌大同印刷株式会社 厚別本社 環境管理事務局
〒004-0003 札幌市厚別区厚別東3条2丁目
TEL 011-897-9711 FAX 011-897-9715

ホームページ
<http://www.diocd.co.jp>

環境情報 Ecology Report
<http://www.diocd.co.jp/daido/iso/>

■ 表紙デザイン

後藤 真希恵 エディトリアルデザイナー / イラストレーター